



インターネットでの情報提供

提供予定日 7月11日(木)

平成25年7月10日(水) 県政記者クラブ配布資料			
担当課	担当係	担当者	電話番号
河川課	環境係	宇野 真也	内線 3726 直通 058-272-8593

「伝統的防災施設マップ」を活用した地域防災教育を実施します

岐阜県には、大規模な洪水が起こった時の備えとして、先人たちの知恵と経験によって造られた霞堤^{かすみでい}や輪中堤^{わじゅうでい}(※)などの伝統的な防災施設が存在します。

この伝統的防災施設の持つ役割などをもう一度見直すことが、今後の水害対策に重要と考え、県では施設の位置や意義などをまとめたマップを、全国で初めて作成しました。

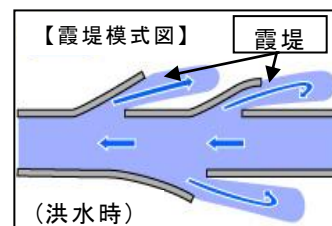
これらの施設の存在と役割、歴史的な意義を次の若い世代や地域住民に伝えることで、地域の防災意識を高め、洪水被害の軽減につなげることを目指します。そのため、このマップを、施設がある地域の小中学校や自治会などに配布し、総合学習や地域の防災訓練などで活用することにより、「清流の国ぎふ」を支える人づくりを推進します。

この度、その第1弾の総合学習支援を、県の美濃土木事務所職員が、関市立瀬尻^{せじり}小学校で実施します。

※霞堤：堤防にすき間を設けて、不連続にした施設。

洪水時にはすき間から水を入り込ませて、川の水位を上げりにくくし、甚大な被害を避ける。

輪中堤：川の氾濫から集落を守るため、集落の周りに堤防を造り「輪」のようにつないだ施設。



記

1 総合学習の開催概要

- ・日時：平成25年7月12日(金) 9:30～10:15
- ・場所：関市立瀬尻小学校 3階 音楽室(関市小瀬2120番地)
- ・電話：0575-22-3120
- ・学年：6年生(73名)

<参考>

「伝統的防災施設マップ」は、霞堤と輪中堤に分けて、県内に施設が多く存在する下記5地区についてまとめました。

【霞堤】中濃地区(長良川・津保川)／飛騨地区(宮川)／西濃地区^{かすかわ}(粕川・揖斐川)
【輪中堤】西濃地区中部(大垣輪中等)／西濃地区南部(福束輪中、高須輪中等)

2 その他

授業は、公開形式(取材可)により行いますが、取材される場合は、前日7月11日(木)の17時まで同校(取材窓口：井戸教頭)に連絡を入れてください。

なお、県政放送番組「県政ほっとライン(ぎふチャン)」の収録を行います。